

AMDA



信念は「相互扶助」



難波さん(左)からAMDAの緊急救援活動について聞きました

【岡山市・京山中1年、信賴関係があるからこそ、安全にスムーズに活動できるそうだ。

政木英永) 私はAMDA国際部長の難波妙さんにインタビューした。相互扶助の精神が信念という。救援を受ける側

にもプライドがある。「今回は援助しますが、困った時は助けてください」という姿勢や敬意が信頼へとつながっている。

設立以来、行った緊急救援は56カ国150件に上る。「お互いにあるがとうと言える関係を築けてきたことはとても幸せ」と話す難波さん。AMDAの活動が、次の世代に引き継がれることを強く願っている。

災害時には専用のネットワークで情報発信し、会員が被災地に駆け付ける。投薬や手術などの医療行為は、現地で求められることを地元の医師らと協力し行う。長年の